

製品名: リン酸化 NLRC4(Ser-533)ラットモノクローナル抗体**カタログ番号: AMR81613**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ラットモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,ICC,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | Rat IgG2b |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 116.7kDa |

抗原情報

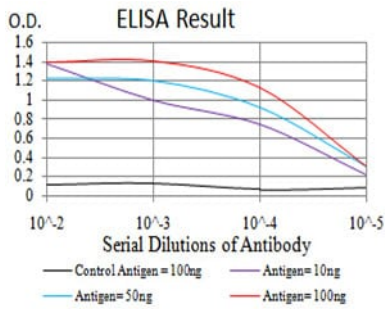
| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | phospho-NLRC4(Ser-533) |
| 別名 | CLAN; IPAF; CLAN1; CLANA; CLANB; CLANC; CLAND; Card12; 9530011P19Rik |
| 遺伝子 ID | 268973.0 |
| SwissProt ID | Q3UP24 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したマウスリン酸化 NLRC4(Ser-533) (AA: 525-538) の合成ペプチド。 |

背景

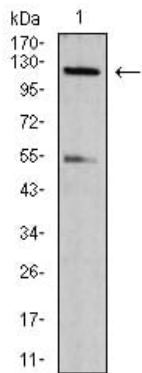
NLRC4 は、腸内の免疫優勢抗原である細菌フラジェリンに反応してインフラマソームの形成を誘発できる細胞質 NOD (ヌクレオチド結合およびオリゴマー化ドメイン) 様受容体 (NLR) です。

研究分野

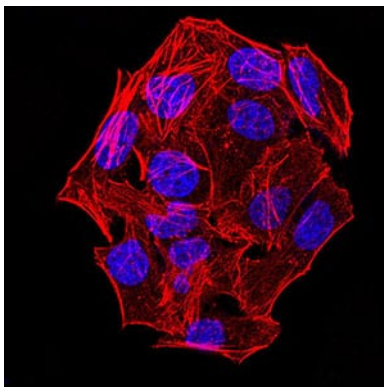
画像データ



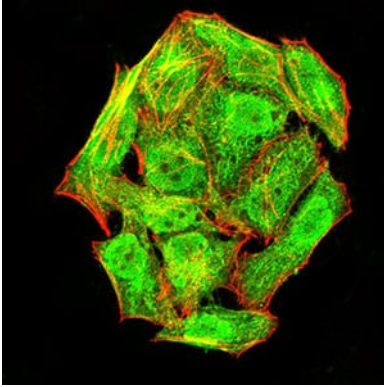
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



NIH/3T3 (1) 細胞溶解物に対するリン酸化 NLRC4 (Ser-533) ラット mAb を用いたウエスタンブロット分析。



リン酸化 NLRC4 (Ser-533) ラット mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



リン酸化 NLRC4(Ser-533)ラット mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。